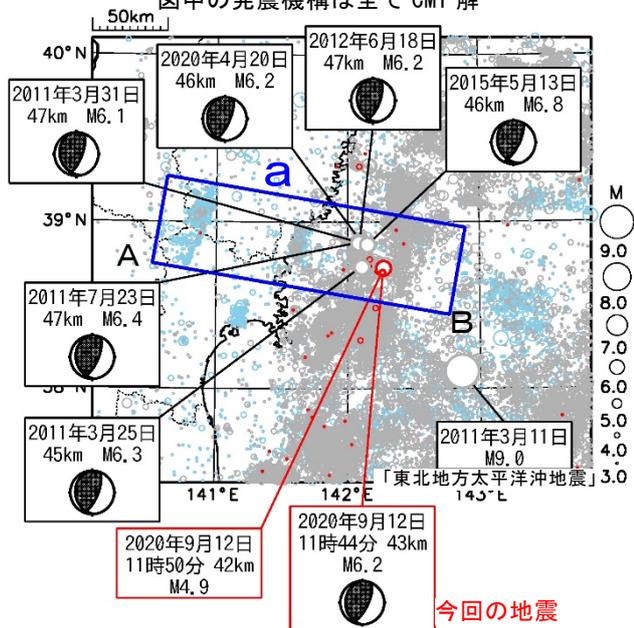


9月12日 宮城県沖の地震

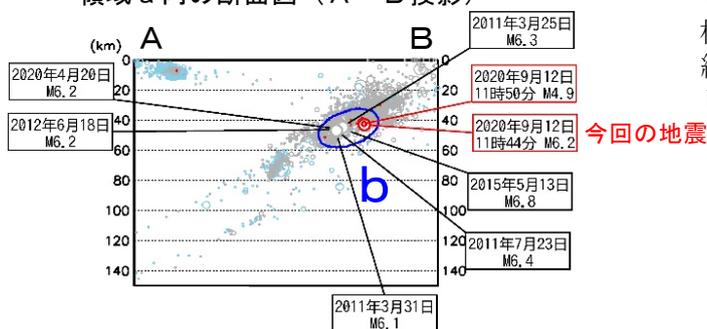
震央分布図

(1997年10月1日～2020年9月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を青色○、
2011年3月11日以降に発生した地震を灰色○、
2020年9月に発生した地震を赤色○で表示
図中の発震機構は全て CMT 解



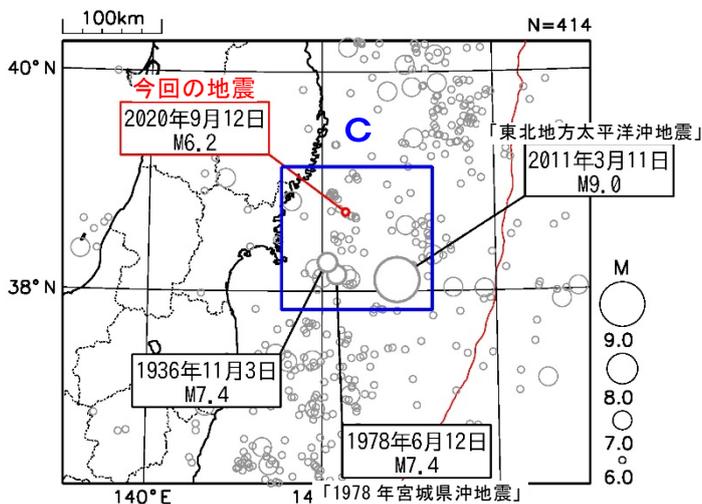
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2020年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2020年9月に発生した地震を赤色○で表示

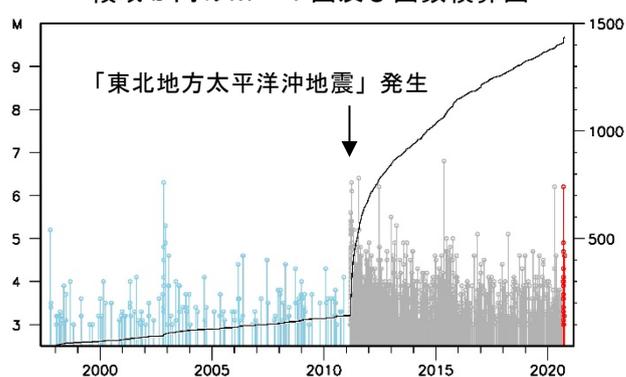


2020年9月12日11時44分に宮城県沖の深さ43kmでM6.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により軽症者1人の被害が生じた(9月14日現在、宮城県による)。このほか、この地震の震源付近では直前の同日11時13分にM4.0(最大震度1)、その後同日11時50分にM4.9(最大震度3)の地震が発生するなど、9月30日までに震度1以上を観測する地震が13回発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以降に地震活動が活発化し、M5.0以上の地震の発生回数が増加した。2015年5月13日にはM6.8の地震(最大震度5強)が発生し、住家一部破損3棟の被害が生じた(総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では「東北地方太平洋沖地震」のほか、1978年6月12日には「1978年宮城県沖地震」(M7.4、最大震度5)が発生し、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟等の被害が生じる(被害は「日本被害地震総覧」による)など、M7.0以上の地震がしばしば発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

